



こだま



ひむろこだま保育園 園だより
＜2026年7月31日発行＞

〒569-1141
高槻市氷室町1-21-12
TEL(本園) 072-695-1516
(分園) 072-695-1563

今年は梅雨明けも早く夏が長い気がしますね。まだまだ続くこの猛暑をどのようにして乗り切るかと考えてしまいます。子どもたちは毎日晴れ渡る青空の下、伸び伸びと元気に過ごしています。幼児クラスはプールに入り、楽しそうな声が園庭に響き渡っています。乳児クラスのお友だちも、水あそびや感触あそびなど夏ならではのあそびを毎日楽しんでいます。

8月は、夏まつりがあります。今年も保護者会と共に楽しい行事になるよう計画を進めています。卒園児も招待して、大勢の方たちと夏の夕暮れのひと時を過ごしたいと思っています。

気温や湿度などで決まる暑さ指数の関係で、晴れているのに外に出られない日もありますが、そんな時はホールでリズム運動をしたり、様々な体育遊具を置いてたっぷり身体を動かす保障もしていきます。

8月の行事予定

3日	月	身体測定（5歳児・0歳児）
4日	火	身体測定（4歳児）
5日	水	身体測定（3歳児）
6日	木	身体測定（2歳児）
7日	金	身体測定（1歳児）
10日	月	申込保育 きりんぐみ休み プール休み お弁当日
12日	水	
13日	木	
14日	金	
15日	土	
18日	火	避難訓練
19日	水	誕生会 プールじまい
29日	土	夏まつり 半日保育

今月の保育目標



- ＊休息と水分補給をし、夏を元気に過ごす
- ＊心も身体も開放して、プールや水あそびなど夏のあそびを楽しむ
- ＊平和について考える



この猛夏をどう乗り切るか… 戸外あそびの保障と必要性

涼しいクーラーの中での保育（必要な時もあります）より、暑い時は暑さを感じつつも、冷たい水の気持ちよさを感じたり、夏のあそびの楽しさを存分に体験させたいなど考えています。戸外あそびは、子どもの自律神経の発達や夏の自然に触れる五感の刺激、心身の発達のためにも大切なものです。

ひむろこだま保育園でも、熱中症警戒アラートを参考にし、暑さ指数を測定しながら、対応しています。朝夕も外に出る時間をずらして短くしたり、できるだけ日陰であそぶようにしたり、暑さ指数の数字だけを見るのではなく、こまめな水分補給や目の前の子どもたちの体調や様子を見ながら、過ごすようにしています。テントで日陰を作ったり、ミストや水まきをしたり、戸外で涼しく過ごす環境も考えています。



お知らせとお願い

■夏期期間の保育について

- ・職員研修や休暇のため家庭保育のお願いをしています。引き続きご協力をお願いします。
- 8月10日(月)・12日(水)～15日(土)は、申し込みをされた方だけの保育です。
- お弁当持参日は、8月13日(木)・14日(金)・15日(土)となります。
- お間違えのないようにお願いします。
- ・8月10日(月)～15日(土)の期間は、プールはお休みです。
- ・8月10日(月)～15日(土)の期間、びわ組は本園で過ごします。
- 衣類や布団などは、本園びわ組の荷物を置く部屋に置いてください。
- 衣服などは、その日に必要な量だけ用意してください。
- 14日(金)の夕方のお迎えも本園をお願いします。



■夏まつりについて

日時：8月29日（土） 16：15～ オープニング 16：30～ お店

※半日保育の日です 18：15～ 3・4・5歳児 盆踊り

＜内容＞おばけ屋敷、お楽しみ部屋、わなげ、おもちゃつり、くじ引き、かき氷、フランクフルト、ハッシュドポテト、ポップコーンなどのお店も出ますよ！

＊詳細のおたよりが出ますので、楽しみに予定しておいてください。

■お迎え要請について

子どもの体調は急変することがあります。発熱などでお迎えを要請された場合は、速やかに対応できるように、ご協力できる方も作っておいてください。お迎えまでの時間を要したとしても、必ず連絡が取れる状況にしておいてください。



■登降園について

- ・保育園関係者であることを確認する意味もありますので、園指定のピンクの紐のカードケースを首から下げてください。お忘れの方には、お声掛けもさせていただきます。登降園の管理はICTで行っておりますので、必ずタブレットにQRコードを読み込ませてください。カードを忘れた場合は事務所または保育士に必ず声をかけてください。
- ・送り迎えの時は、必ず保育者に声をかけてください。お子さんと一緒に登降園の準備をしましょう。朝の合同時間帯は、保育室まで連れてきてください。

■半日保育（職員研修）の日の対応について

半日保育の日は、職員が全員園外へ出ていくこともあります。忘れ物を取りに来るなど保育園に来られる際は、お電話で保育園が開いているかを確認してください。

■爪を切りましょう！（角は丸くやすりをかけてください）

爪が伸びていると、思わぬ怪我に繋がることがあります。傷が深いと跡が残ってしまうということもあります。怪我をしてしまう子にも怪我をさせてしまう子にもなってほしくないですね。職員もできるだけトラブルなどないように保育をしていきますが、爪を短く切って整えていることで防げることもあります。子どもたちにも爪が伸びていたら、「切って！」と、お家の人をお願いするよう伝えています。週に1回はチェック日を作りましょう。個別のお声掛けもさせていただきます。

